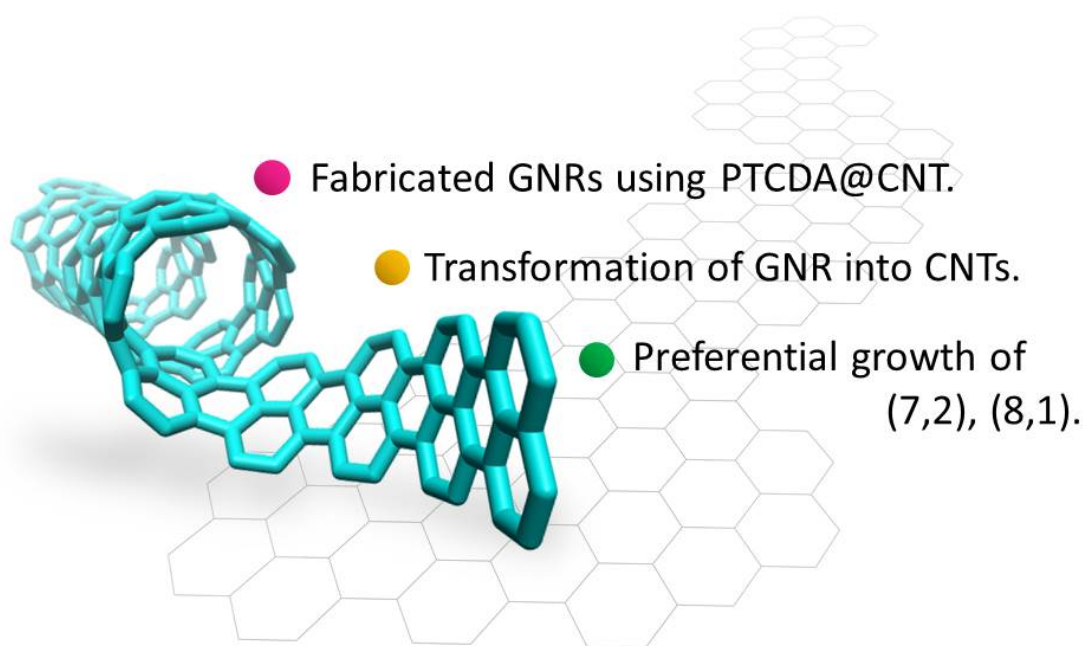


グラフェンナノリボンからナノチューブの合成に成功

名古屋大学大学院理学研究科の研究グループ（Lim Hong En (大学院生)、宮田耕充助教、北浦良准教授、篠原久典教授）は、カーボンナノチューブをナノサイズのリアクターとして用いた多環芳香族分子（PAH）の熱融合反応によってカーボンナノチューブの構造選択的な合成に成功しました。また、これがグラフェンナノリボンのツイスト構造を介した特異な反応メカニズムで起きていることを明らかとしました。この研究の詳細は、英国の学術誌「Nature Communications」に2013年10月4日に掲載(DOI: 10.1038/ncomms3548)されました。

問合せ先：名古屋大学大学院理学研究科 北浦良 准教授



図：ナノリボンから(7, 2)や(8, 1)のナノチューブが選択的に合成される。